



府中商工会議所

販路開拓や企業連携、新商品&新サービス開発など、
経営を充実させたいと考えられている方、
お気軽に府中商工会議所までお電話ください。

そっだ



事例紹介

府中商工会議所に相談してみよう

豊田産業株式会社

〒726-0026 府中市三郎丸町 238
Tel.0847-41-5107 Fax.0847-41-5108
✉ oitachi@oitachi.com



HP

部品製造下請けから自社ブランドを製造・販売するメーカーへと成長

おいたちの小箱と名づけたんですが…

豊田産業株式会社の豊田裕子さんに私たち府中商工会議所のスタッフが初めてお会いしたのは平成12年のことでした。「おいたちの小箱と名づけたんですが…」。
豊田さんは、大切にその商品を抱えて、当商工会議所に相談に来られました。



おいたちの小箱

母子手帳がピッタリ入ります。へその緒が入る内箱式で、小箱の蓋を開けると中に乳歯ケースも。

お話しをうかがうと…

昭和41年の創業、当初は桐の丸太を卸す仕事していた。その後、桐材を活かした桐タンスの引き出しを生産開始。当時は府中家具の隆盛もあり、業績は順調に推移していた。しかし、平成になって、家具メーカーの減少に伴い受注量が減少、工場内は不良在庫が山ようになっていった。
この桐材で何か作れないだろうか。そこで新商品開発に取り組み、おいたちの小箱が完成した。
…ということでした。

どのように売れば?分からないことばかりです

これは確かに素晴らしい商品だ、ニーズは必ずある! と思いました。
しかし、豊田産業は今まで部品製造の下請けをされていたため、どうやって販売したらよいか困っておられました。「何かよい知恵があれば」、豊田さんの言葉を受けて、まずは、特許申請から支援を開始しました。



希望に満ち溢れているような豊田さんの表情

「昔のように若いスタッフが増えてきた」とうれしそうに語る豊田さん。当初、当会議所に相談に来られた時から、とても前向きで、目標を持って熱心に取り組まれていました。支援する私たちスタッフもその情熱に応えようとがんばることができました。

部品製造下請けから自社製品を作り、販売するメーカーへと成長したことで利益率も大幅にアップした豊田産業株式会社。
かかわった会議所スタッフもやりがいのあるステキな事例でした。

現在、「おいたちの小箱」「跳び箱型小物入れ」やオリジナル商品などは関東を中心とした雑貨店やネットショップでも販売されています。



豊田さん

問題解決に向けて動きだしたスタッフたち



跳び箱型小物入れシリーズ
桐材加工の技術を生かして創られた昔懐かしい跳び箱形の引き出しです。マット部分は本格的な帆布張りで本物そっくり。

新商品を開発するのに有益な新商品開発チャレンジ研究会へ参加することも提案。活動が続ける中で生まれたのが「跳び箱型小物入れ」です。これも遊び心溢れる商品で、売れる! と思いました。

これで主力となる商品が2つ揃いました。しかし、商品力があるだけではモノは売れません。会議所の豊富なネットワークをフルにいかし販路を求めて東奔西走しました。そして、下諏訪商工会議所の助けを借りながらコラボ商品としてオルゴールの開発支援を実施。また、東京では販売店めぐりや東京インターナショナルギフトショーへの共同出品をサポートしました。併せて、B to C を目指したホームページの作成などの支援も行いました。

その甲斐あって認知度は徐々にアップ、生産量も増えてきました。ところが生産が追いつかない状況に。確かに手作業では生産効率が悪く、木



大川家具展示会

工用 NCの導入を勧めました。購入費用は持続化補助金を活用することを提案。提出書類作成のお手伝いもしました。最近では、大川家具の産地で行われる家具展示会へも共同出品されています。

府中商工会議所

〒726-0003 広島県府中市元町 445-1

Tel.0847-45-8200